

## 【 三宅村 】 胃がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

## &lt; 国の指針に基づく胃がん検診の実施状況 &gt;

対象年齢 (40歳以上)	している
検査方法 (胃部X線検査)	している

## &lt; 住民の検診受診状況 &gt;

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	1,031	919	1,950
【東京都調査による対象者率(東京都): 59.6%】			
実際の受診者数	112	127	239

## &lt; 国の指針に基づくもの以外の実施状況 &gt;

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

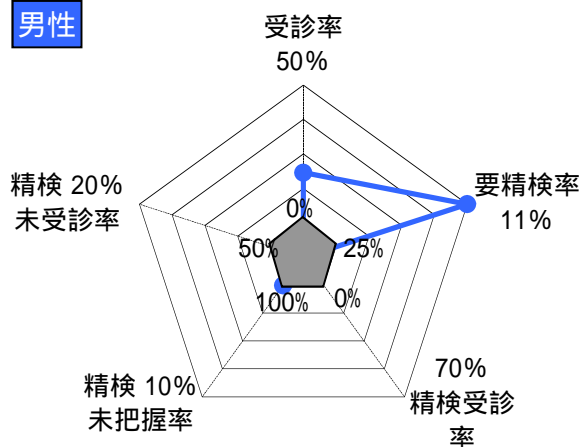
## &lt; 区市町村の受診率向上(精検含む)体制 &gt;

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

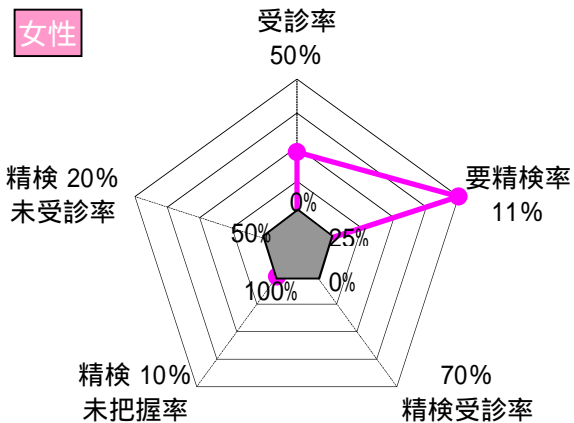
## &lt; がん検診の質を評価する指標(プロセス指標) &gt;

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	18.2%	23.2%	20.6%
要精検率	11%以下	8.0%	5.5%	6.7%
精検受診率	70%以上	未把握	未把握	未把握
精検未把握率	10%以下	100.0%	100.0%	100.0%
精検未受診率	20%以下	未把握	未把握	未把握
陽性反応適中度	1.0%以上	未把握	未把握	未把握
がん発見率	0.11%以上	未把握	未把握	未把握

## 男性



## 女性



## 【評価結果】

## &lt; 受診率 &gt;

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

## &lt; 精検未把握率 &gt;

精検結果が把握されておらず、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、早急に精密検査結果を把握できる体制を検討してください。

## 【 三宅村 】 肺がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

## &lt; 国の指針に基づく肺がん検診の実施状況 &gt;

対象年齢 (40歳以上)	している
検査方法 (胸部X線検査及び喀痰細胞診)	している

## &lt; 住民の検診受診状況 &gt;

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	1,031	919	1,950
【東京都調査による対象者率 (東京都) : 65.9%】			
実際の受診者数	134	165	299

## &lt; 国の指針に基づくもの以外の実施状況 &gt;

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

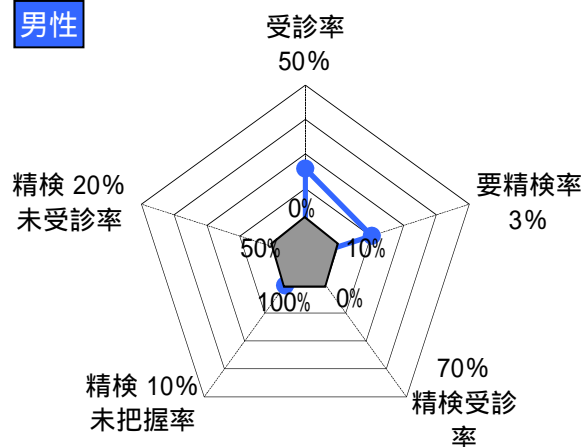
## &lt; 区市町村の受診率向上(精検含む)体制 &gt;

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

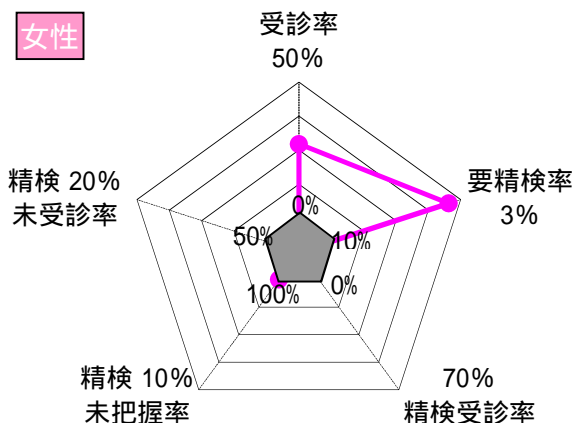
## &lt; がん検診の質を評価する指標(プロセス指標) &gt;

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	19.7%	27.2%	23.3%
要精検率	3%以下	8.2%	3.6%	5.7%
精検受診率	70%以上	未把握	未把握	未把握
精検未把握率	10%以下	100.0%	100.0%	100.0%
精検未受診率	20%以下	未把握	未把握	未把握
陽性反応適中度	1.3%以上	未把握	未把握	未把握
がん発見率	0.03%以上	未把握	未把握	未把握

## 男性



## 女性



## 【評価結果】

## &lt; 受診率 &gt;

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

## &lt; 要精検率 &gt;

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

## &lt; 精検未把握率 &gt;

精検結果が把握されておらず、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、早急に精密検査結果を把握できる体制を検討してください。

【 三宅村 】 大腸がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

< 国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況 >

対象年齢 (40歳以上)	している
検査方法 (便潜血検査(二日法))	している

< 国の指針に基づくもの以外の実施状況 >

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

< 住民の検診受診状況 >

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	1,031	919	1,950
【東京都調査による対象者率(東京都): 64.9%】			
実際の受診者数	137	160	297

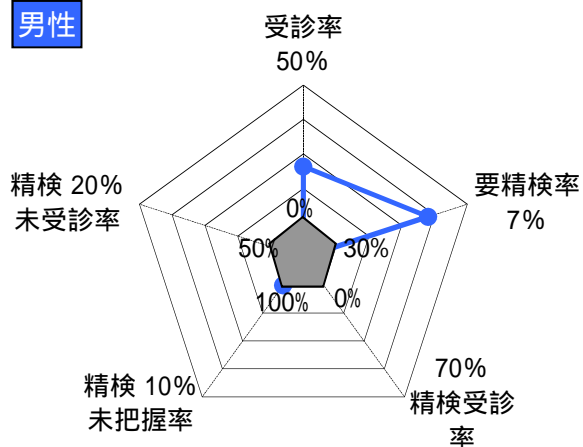
< 区市町村の受診率向上(精検含む)体制 >

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

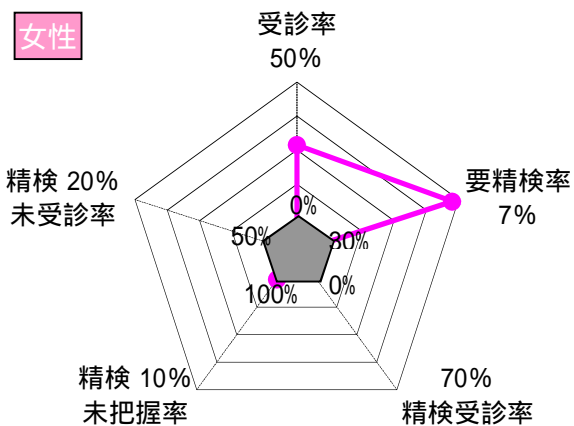
< がん検診の質を評価する指標(プロセス指標) >

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	20.5%	26.8%	23.5%
要精検率	7%以下	13.9%	8.1%	10.8%
精検受診率	70%以上	未把握	未把握	未把握
精検未把握率	10%以下	100.0%	100.0%	100.0%
精検未受診率	20%以下	未把握	未把握	未把握
陽性反応適中度	1.9%以上	未把握	未把握	未把握
がん発見率	0.13%以上	未把握	未把握	未把握

男性



女性



【評価結果】

< 受診率 >

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

< 要精検率 >

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方(偽陽性)の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

< 精検未把握率 >

精検結果が把握されておらず、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、早急に精密検査結果を把握できる体制を検討してください。

## 【 三宅村 】 子宮頸がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

## &lt; 国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況 &gt;

対象年齢 (20歳以上:隔年)	毎年
検査方法 (細胞診)	している

## &lt; 住民の検診受診状況 &gt;

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		1,120	
【東京都調査による対象者率(東京都): 64.8%】			
実際の受診者数		203	

## &lt; 国の指針に基づくもの以外の実施状況 &gt;

対象年齢以外の実施	間隔について毎年実施
左記以外の検査の実施	していない

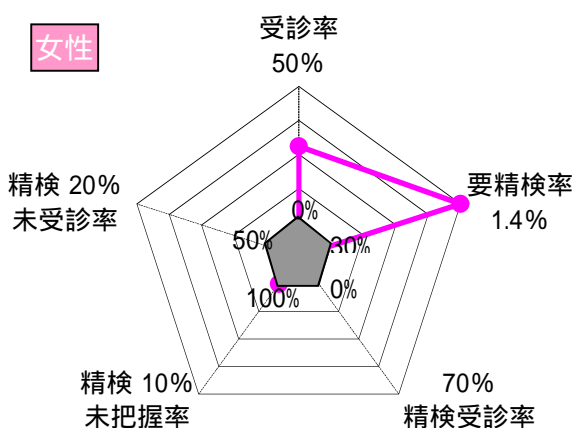
## &lt; 区市町村の受診率向上(精検含む)体制 &gt;

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

## &lt; がん検診の質を評価する指標(プロセス指標) &gt;

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		28.0%	
要精検率	1.4%以下		0.5%	
精検受診率	70%以上		未把握	
精検未把握率	10%以下		100.0%	
精検未受診率	20%以下		未把握	
陽性反応適中度	4.0%以上		未把握	
がん発見率	0.05%以上		未把握	

## 【評価結果】



## &lt; 受診率 &gt;

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

## &lt; 2年連続受診者未把握 &gt;

2年連続受診者が把握・集計されていません。正確な受診率や受診者の特性を把握するためには、2年連続受診者の集計が必要です。

## &lt; 精検未把握率 &gt;

精検結果が把握されておらず、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、早急に精密検査結果を把握できる体制を検討してください。

## 【 三宅村 】 乳がん検診 プロセス指標等一覧シート

## &lt; 国の指針に基づく乳がん検診の実施状況 &gt;

対象年齢 (40歳以上:隔年)	していない
検査方法 (視触診及びマンモグラフィ)	している

がん検診推進事業のみ視触診及びマンモグラフィ実施

## &lt; 住民の検診受診状況 &gt;

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		919	
【東京都調査による対象者率(東京都): 72.6%】			
実際の受診者数		21	

## &lt; 国の指針に基づくもの以外の実施状況 &gt;

対象年齢以外の実施	30歳以上
左記以外の検査の実施	超音波検査

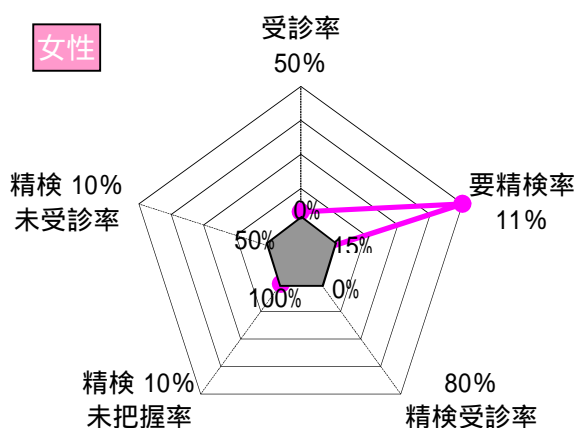
## &lt; 区市町村の受診率向上(精検含む)体制 &gt;

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

## &lt; がん検診の質を評価する指標(プロセス指標) &gt;

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		3.9%	
要精検率	11%以下		9.5%	
精検受診率	80%以上		未把握	
精検未把握率	10%以下		100.0%	
精検未受診率	10%以下		未把握	
陽性反応適中度	2.5%以上		未把握	
がん発見率	0.23%以上		未把握	

## 【評価結果】



## &lt; 受診率 &gt;

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

## &lt; 精検未把握率 &gt;

精検結果が把握されておらず、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、早急に精密検査結果を把握できる体制を検討してください。